学校番号	３０１８

令和８年度　総合造形科

教科	総合造形	科目	造形基礎ⅡA	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

造形の諸活動の土台となる基礎基本を学ぶため、観察力、形体、空間や明暗を把握する力、描写力を養い育てる。また、造形基礎Ⅰで学んだ造形の基礎・基本を継続的・発展的に学ぶ。

2　学習の到達目標

・素描を通して、静物を観察し、形、空間や明暗の調子を把握し描写する力を身につける。
・ものの本質に迫る質感・量感等を理解し、空間を感じる描写力を身に付けるための学習や実習を行う。

【知識及び技能】
立体物をしっかり観察し表現する描写力を身に付け、技術や理論を理解し習得する。

【思考力、判断力、表現力等】
造形に関する基礎基本を学ぶことによって、正確な色調の表現や空間を感じさせる描写力を養い、見方や感じ方を深めていく。

【学びに向かう力、人間性等】
１年次に培った基礎基本をもとに、造形に関する専門的な学習を積極的・主体的に身に付け、創造活動に生かすような態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 物体の構造や形体による明暗の変化を理解し論理的に判断することができる力を身に付ける。	造形的な美しさ、表現の意図について考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練り、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めている。 モチーフを元に、構成、色調、質感、空間等の造形要素を考え創意工夫しながら描写力へとつなげていく。	描写力に関する基礎基本を積極的・主体的に身に付け、創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	素描　卓上静物①	静物2点をモチーフにして構造や形体、明暗の変化による立体感を把握させる。	a:モチーフを観察し構造を理解するとともに明暗の調子を理解している。 b:モチーフをよく観察して構成し、空間を含め正確な表現をしている。 c: 静物を描く意図に応じて創意工夫し、主体的に創造活動に取り組もうとしている。	作品 アイデアスケッチ 制作メモ	作品 制作メモ	作品 授業観察 総合評価 ワークシート
	素描　卓上静物②	静物3点をモチーフにして構造や形体、明暗の変化による立体感を把握させる。	a:モチーフを観察し構造を理解するとともに明暗の調子を理解している。 b:モチーフをよく観察して構成し、空間を含め正確な表現をしている。 c: 静物を描く意図に応じて創意工夫し、主体的に創造活動に取り組もうとしている。	作品 アイデアスケッチ 制作メモ	作品 制作メモ	作品 授業観察 総合評価 ワークシート
2	素描　卓上静物③	静物2点をモチーフにして構造や形体、明暗の変化による立体感および質感を把握させる。	a:モチーフを観察し構造を理解するとともに明暗の調子を理解している。 b:モチーフをよく観察し、質感や素材感も写実的に捉え、正確な表現をしている。 c: 静物を描く意図に応じて創意工夫し、主体的に創造活動に取り組もうとしている。	作品 アイデアスケッチ 制作メモ	作品 制作メモ	作品 授業観察 総合評価 ワークシート
	着彩描写　静物	静物3点をモチーフにして着彩描写することで構造や形体、明暗の変化による立体感および質感を表現させる。	a:モチーフを観察し構造を理解するとともに明暗の調子および色彩を理解している。 b:モチーフをよく観察し、色を重ねることで静物の形体や質感を表現することができる。 c: 静物を描く意図に応じて創意工夫し、主体的に創造活動に取り組もうとしている。	作品 アイデアスケッチ 制作メモ	作品 制作メモ	作品 授業観察 総合評価 ワークシート
	素描　卓上静物④	静物3点をモチーフにして構造や形体、明暗の変化による立体感および質感、空間を把握させる。	a:モチーフを観察し構造を理解するとともに明暗の調子を理解している。 b:モチーフをよく観察し、質感や素材感も写実的に捉え、正確な表現をしている。 c: 静物を描く意図に応じて創意工夫し、主体的に創造活動に取り組もうとしている。	作品 アイデアスケッチ 制作メモ	作品 制作メモ	作品 授業観察 総合評価 ワークシート

3	素描　卓上静物⑤	静物3点をモチーフにして構造や形体、明暗の変化による立体感および質感、空間を把握させる。	a:モチーフを観察し構造や形体、空間を把握し構図を組み立てるとともに色調との関連を理解している。 b:モチーフをよく観察し、質感や素材感も写実的に捉え、画面の構成を意識し空間も含めた正確な表現をしている。 c:主体的に描く、静物を描く意図に応じて創意工夫し、創造活動に取り組もうとしている。	作品 アイデアスケッチ 制作メモ	作品 制作メモ	作品 授業観察 総合評価 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度